

地域医療構想（ビジョン）の策定 （平成27年度～）

都道府県は、地域の医療需要の将来推計や報告された情報等を活用して、二次医療圏等ごとの各医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしい
バランスのとれた医療機能の分化と連携を適切に推
進するための地域医療のビジョンを策定し、医療計
画に新たに盛り込み、さらなる機能分化を推進

地域医療構想の具体的な内容

・ 2025年の医療需要

- － 構想区域ごとの患者数を推計

・ 2025年に目指すべき医療提供体制

- － 推計された医療需要をどこで受け止めるか？
- － 構想区域ごとの在宅医療を含めた医療機能別供給量

・ 目指すべき医療提供体制を実現するための施策

峡東構想区域の医療の目指すべき姿

2014年度
病床機能報告の集計結果
(稼働病床数)

2025年度
地域医療構想における必要病床数

高度急性期

0

48

(単位:床)

急性期

776

279

回復期

639

978

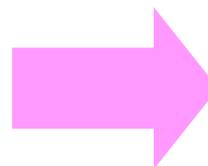
慢性期

587

419

計 2,002

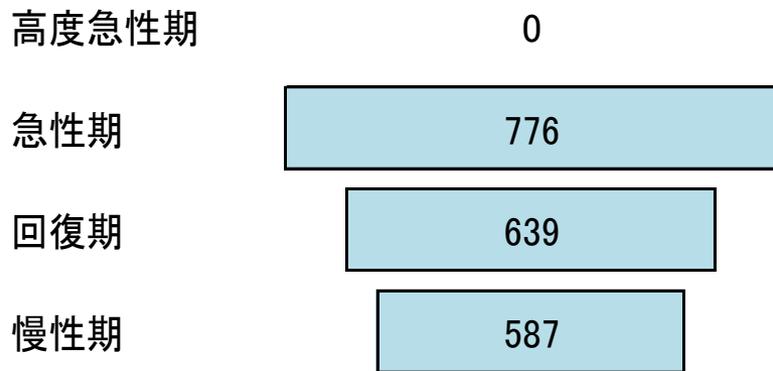
計 1,724



現在の峡東構想区域の医療の実態

病床機能報告の集計結果と実際に支援ツールを用いた分析結果を比較すると以下のような乖離がある。

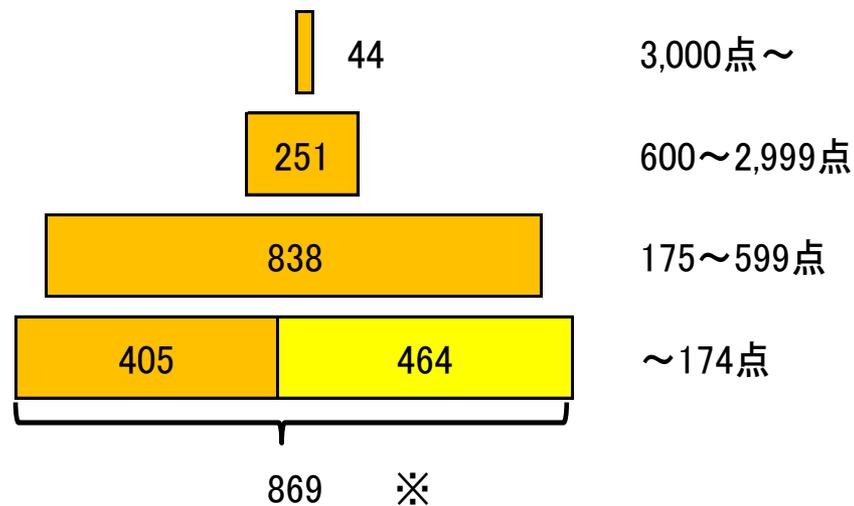
2014年度
病床機能報告の集計結果
(稼働病床数)



計 2,002

2013年度
医療資源投入量による分析

(単位:床)



※ 869床のうち464床は、2025年に向けて、在宅医療等に対応することとされている。

計 2,002

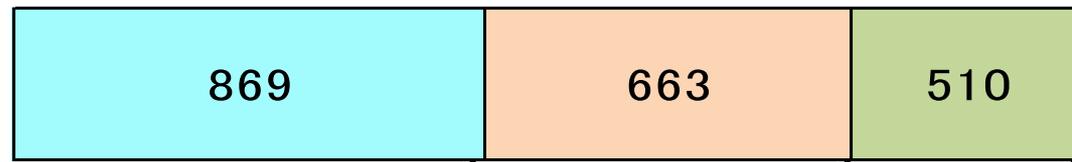
今後の慢性期、在宅医療の方向性

国のガイドラインによると、難病患者等を除いた医療区分1の70%の患者等については、在宅医療や介護サービス等に対応する方向性が示されている。

[峡東構想区域における慢性期及び在宅医療等の医療需要の内訳 (支援ツール)]

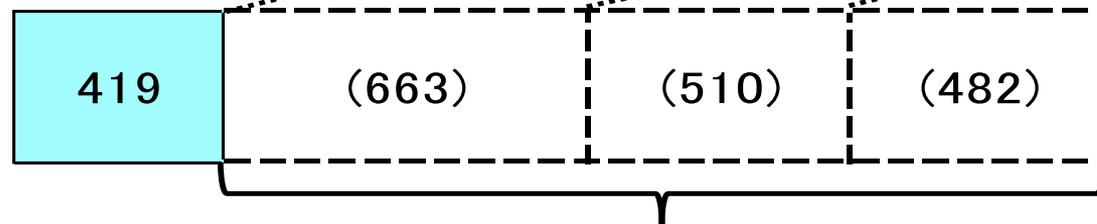
(単位:床)

【現状】



計 2,042

【2025年度】



計 2,074

(+32)

(▲ 450)

1,655 ※

■ : 慢性期病床の入院患者数

■ 【慢性期病床の必要病床数 (支援ツール)】

■ : 訪問診療を受けている者

■ 【2013訪問診療の医療需要 (支援ツール)】

■ : 介護老人保健施設の定員

■ 【山梨県介護保険事業支援計画 (2015定員)】

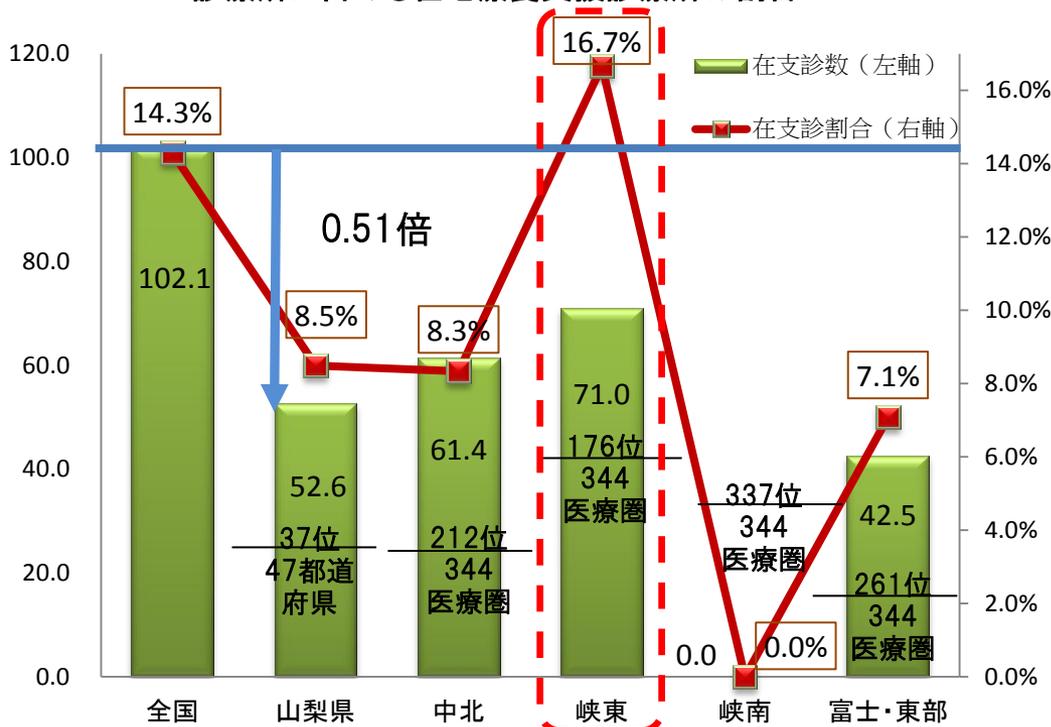
※ 支援ツールの推計値

在宅医療等 (訪問診療、介護老人保健施設、サービス付き高齢者向け住宅等) に対応すべき数値

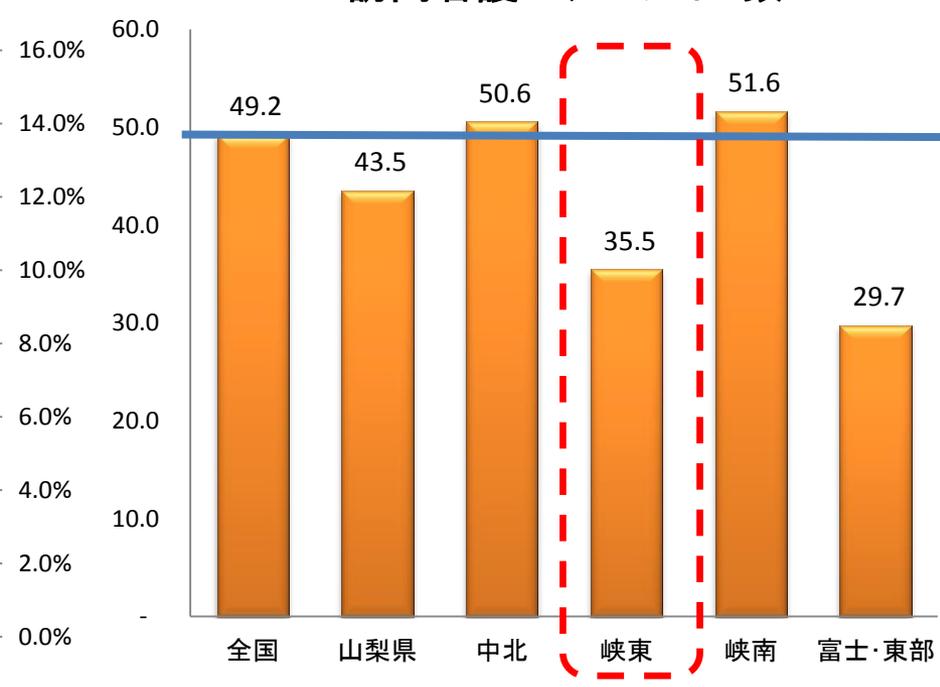
在宅療養支援診療所及び訪問看護ステーションの状況

- 本県の75歳以上人口当たりの在宅療養支援診療所数は全国の半分程度。
- 在宅療養支援診療所は全ての構想区域において全国平均を下回る。
- 訪問看護ステーションは全国平均程度だが、峡東、富士・東部は下回る。

75歳以上人口10万人当たり在宅療養支援診療所数
診療所に占める在宅療養支援診療所の割合



75歳以上人口10万人当たり
訪問看護ステーション数

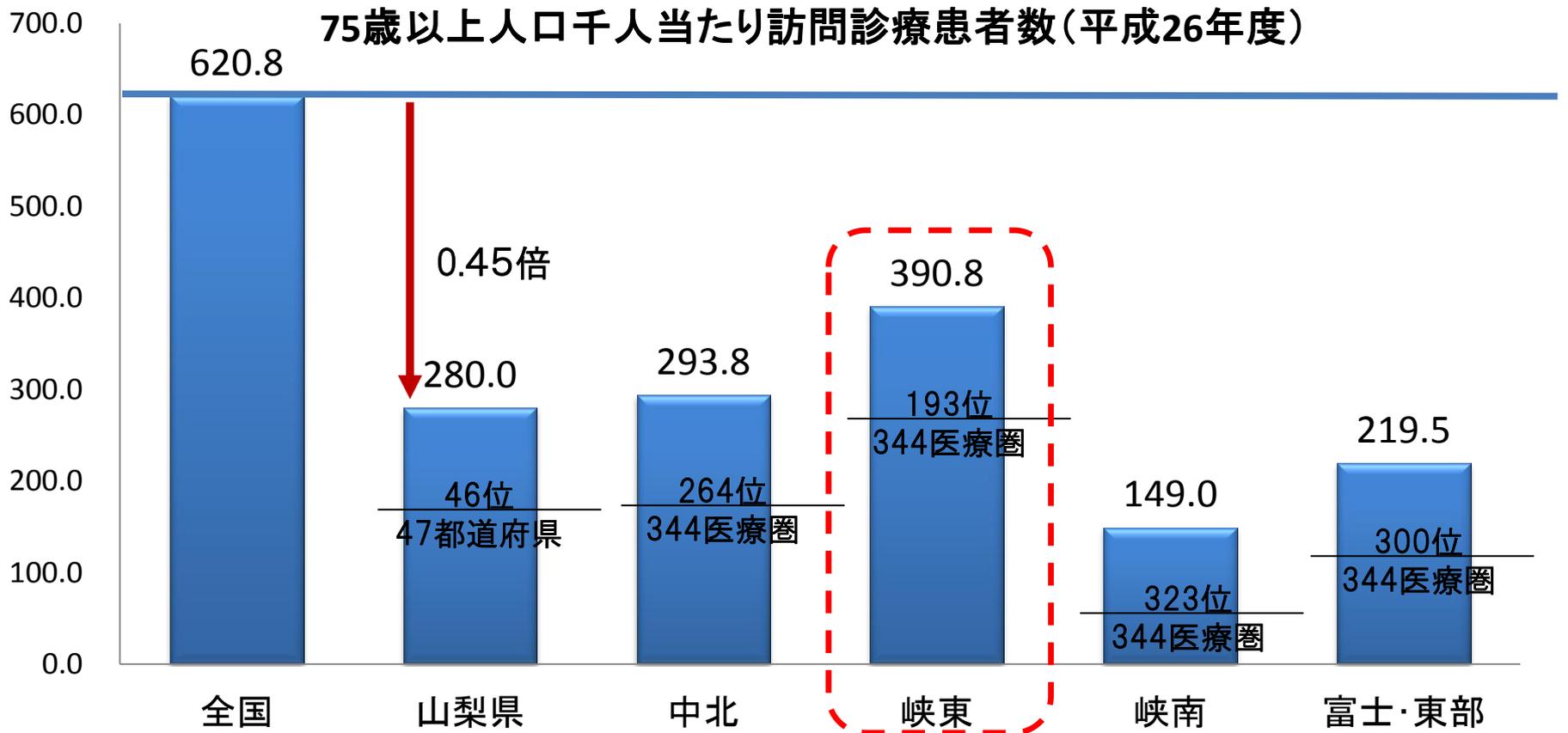


出所)在宅療養支援診療所数:地方厚生局届出受理医療機関名簿(平成26年11月)
診療所数:厚生労働省「医療施設調査・病院報告」(平成25年)
人口:総務省「国勢調査」(平成22年)

出所)訪問看護ステーション・全国:厚生労働省「介護給付費実態調査」(平成26年2月分) 山梨:山梨県長寿社会課調(平成27年6月)人口:総務省「国勢調査」(平成22年)

訪問診療患者の状況

- 本県の75歳以上人口当たりの訪問診療患者数は全国の半分以下。
- 全ての構想区域において全国平均を下回る。
- 特に、峡南、富士・東部構想区域は訪問診療患者数が少ない。



出所)訪問診療患者数: NDB_平成26年度_C001在宅患者訪問診療料算定件数_定期的な訪問診療の数
人口:総務省「国勢調査」(平成22年)